

環境学習みえ

2020年10月／三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)年4回発行
表紙の人／子どもエコクラブ「なひがんばる隊」のみなさん 2020 No.82

秋

子どもエコクラブ「なひがんばる隊」
楽しく続ける「エコ活動」

2019年 壁新聞

「助けて！」
魚たちのために



子どもエコクラブ



楽しく続ける「エコ活動」 ～こどもエコクラブ「なひがんばる隊」～



「なひがんばる隊」

【お話を伺った人】

クラブ名は、ふたりの名前前の頭文字をとって「なひがんばる隊」と名付けました！



北川 尚崇	名前	北川 英宗
なおさん	ニックネーム	ひでさん
ラーメン	好きな食べ物	お寿司
手で音を出すと	今、はまっていること	手拍子の音出す

サポーター 父 朋央さん 母 亜希子さん

「なひがんばる隊」は小学6年生の双子の兄弟がメンバーで、ご両親がサポーターとなって活動しています。2019年には応募した壁新聞が三重県代表に選ばれ、全国フェスティバルに参加して活動を発表する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残念ながら中止となってしまいました。そこで今回は、家庭で取り組む「なひがんばる隊」のエコ活動についてみなさんにご紹介します。

お家でエコ活動



「なひがんばる隊」は平成24年4月にこどもエコクラブに登録しました。尚崇さんと英宗くんが主体となって活動する9年目のクラブです。

ふたりは小さい頃から家族で出かけることが多く、外で遊ぶことが好きだったそうです。環境問題の大切さや自然を守ることを続けていけたらと、環境イベントなどにも積極的に参加してきました。エコクラブに登録したのも、環境学習情報センターのイベントに参加してくれたことがきっかけでした。

また、お家でも日常生活の中でエコになることを取り入れていこうと、さまざまなことをやっています。出来ることを楽しみながら続けていこう！とする「なひがんばる隊」のエコ活動についてお話を聞きました。4年連続応募している壁新聞もご紹介します。

お家でどんなエコなことをしているの？



自然体験

雪が積もったときには外で思いっきり雪遊びを楽しみました。他にお芋や枝豆の収穫をしたり、最近では6月に部分日食を観察しました。



電気

照明はこまめに消します。テレビやパソコンを使わない時は主電源から切るようにしています。ふたりで「つける／消す」の役割を決めて実行しています。



自転車

近くへ買い物などに行くときは、なるべく車を使わずに自転車や徒歩で行きます。



リサイクル工作

家庭菜園でナスやキュウリを作っています。ペットボトルで作ったじょうろで水やりしました。



リサイクル

家庭から出たペットボトルや新聞紙、紙箱などの資源ごみはリサイクルステーションに持っていきます。



ものを大切に使う！

鉛筆は短くなるまで使っています。キャップがはまらなくなるまで短くなりました。ふだばこも小学校入学時から使い続けるなど物を大切にしています！

見て見て！
こんなに短くなるまで使ったよ！



これまで応募した壁新聞

全国
フェスティバルに
初参加!

2016年

小学2年生



「森づくり」



会場の早稲田大学には全国からたくさんのクラブが集まり、とてもワクワクしました。



作品名「森の大ガエル」
撮影した写真が第3回「みえの森フォトコンテスト」で最優秀賞になりました。



大台町での植樹イベントに参加。森のはたらきを知って、元気な森にするためにどんどん木を使おう!

2017年

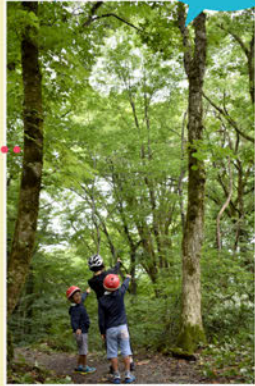
小学3年生



「水のゆくえ」



水は自然豊かな森の奥地から、長い年数をかけて地下水(天然水)となり、川を流れて海につながっていくことがわかった!



森は真夏でもひんやりして気持ちよく、川の水を触ったら氷水のように冷たかったです。山道を歩いた時、地面はふわふわして、やわらかな歩き心地でした。

2018年

小学4年生

「おいしさの秘密は森にあった」 ~おいしさの秘密を探せ~



前年に調べた天然水ができる仕組みから、また一步踏み込んだテーマ。豊かな森は豊かな海を育み、自分たちが食べる魚や肉、農産物など、おいしいものが育つことにつながるのでは? 過去の壁新聞はこちら



鳥羽市答志島奈佐の浜でごみの片づけをしました。流木などが多く、生活ごみもありました。ごみの量が多く、全部を片付けることはできませんでした。

三重県環境学習情報センター みんなでつくった! 壁新聞 [検索](http://www.eco-mie.com/kodomo/ECKabeshinbun.html)
<http://www.eco-mie.com/kodomo/ECKabeshinbun.html>

2019年

小学5年生

「助けて! 魚たちのために」

次ページで
壁新聞を
ご紹介!

壁新聞の仲間たち!

壁新聞づくりにチャレンジしようと思ったのは、尚崇くん、英崇くんが小学2年生の時。「こどもエコクラブでこんなことをやってるけど、やってみる?」と父の朋央さんが勧めたことがきっかけでした。

朋央さん「小さい頃は壁新聞を書くのは大変な作業だったと思います。なおが熱を出した日もあったが、ひでが代わりに書いたりとふたりで助けあってよく頑張っていました。」

壁新聞には書きたいことがたくさんあって、まとめることに特に苦労したと

いいです。そして初めて応募した壁新聞は、その年度の三重県代表に選ばれ、全国フェスティバルに参加しました。

尚崇くん「壁新聞が三重県の代表に選ばれて、活動が認められてうれしかった。発表に向けて頑張って練習をして、本番では緊張したけど、達成感がありました。」

英崇くん「初めて全国フェスティバルに参加した時、色々なクラブの発表を聞いて交流をして、新しい発見ができたのでまた参加したい。」

全国フェスティバルに参加したことは、ふたりにとってその後のエコ活動や壁新聞づくりを続けていきたいという

意欲につながる経験になりました。

これまでの壁新聞を振り返ると、ふたりの成長とともに活動にも発展的な変化が見られ、毎年の活動テーマにはつながりがあることがわかります。参加したイベントや家族で出かけた先で実際に見たものをテーマにしてみました。壁新聞の取材のために出かけるのではなく、楽しそうだから〇〇に行ってみよう!という気楽さも長く続けられる理由かもしれません。尚崇くんと英崇くんの関心がそれぞれに違うときも、一人が行くならもう一人もついていくなど、いつもふたりで一緒に経験することが多いようです。

「津市環境功労者」として表彰!

2019年11月、「つ・環境フェスタ」で「津市環境功労者」として表彰されました。日頃の環境保全や環境学習に取り組む活動が評価されたのです。ステージでは、活動をまとめた3年分の壁新聞を紹介するなど、たくさんの来場者を前に活動発表をしました。

「発表ではクイズを取り入れてたくさんの人に伝わりやすいように工夫しました。みんなが手を挙げてクイズに参加してくれてうれしかったです。」





海の環境についてまとめました。活動について尚崇くんと英崇くんに聞きました!

志摩市の英成漁港では釣りの盛況です!



壁新聞が大きく見られるよ!



「助けてー」魚たちのために

朝市や産直市場の魚が不適切な販売方法で鮮度が落ちてしまっている。そんな現状を、なびがんぼの子どもたちが知り、魚たちのために活動を始めました。

なびがんぼの子どもたちは、3月14日(土)に、津市白旗町の海岸で、海藻やプラスチックのゴミを回収しました。

回収したゴミは、なびがんぼの子どもたちが、お父さんやお母さんに持って帰ってもらいました。

なびがんぼの子どもたちは、回収したゴミを、お父さんやお母さんに持って帰ってもらいました。

調査方法	魚の種類	海洋プラスチック調査結果
1. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
2. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
3. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
4. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
5. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
6. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
7. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
8. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
9. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし
10. 魚を解体して、内臓を調べた。	アサギ	なし

なびがんぼの子どもたちは、回収したゴミを、お父さんやお母さんに持って帰ってもらいました。

なびがんぼの子どもたちは、回収したゴミを、お父さんやお母さんに持って帰ってもらいました。

Q 「海の環境」をテーマにどんな調査をしたの?

死んだクジラのお腹からプラスチックごみが大量に出てきたというニュースを聞いたこと、好きな海苔の漁獲量が減っていることから、「海の環境」について調べてみることにしました。

鳥羽の漁師さんからは、最近の漁獲量について「今年は(2019年)、海水温が高いので魚が獲れない」という話を聞きました。

海岸を調査するなかで、たくさんのごみを見つけました。一番多いと思ったごみは、プラスチック系の包装や容器です。



また、近海(四日市、鈴鹿、鳥羽、志摩、和歌山県)で獲れた魚の内臓の中に海洋プラスチックがあるのか、調べてみました。実際に調べてみるとあまり出てこなかったの、少し安心しました。



エコ活動を通して、海が大変な事態になっていることが分かりました。海にはたくさんのごみがあって小さな海洋プラスチックごみが散らばっていました。魚たちはそのごみを食べてしまう危険があります。このことが漁獲量が減ってきている原因ではないかと思いました。

もしこのまま何もしないと、将来、魚がいなくなってしまうかもしれないので、海づくりを広めて海を守っていきましょう。

みんなもごみのポイ捨てなどの環境破壊につながることを絶対にしないでほしいし、積極的に海の清掃などの環境をよくする行動をしてほしいです。

Q みんなに一番伝えたいことは?

エコ活動を通して、海が大変な事態になっていることが分かりました。海にはたくさんのごみがあって小さな海洋プラスチックごみが散らばっていました。魚たちはそのごみを食べてしまう危険があります。このことが漁獲量が減ってきている原因ではないかと思いました。

もしこのまま何もしないと、将来、魚がいなくなってしまうかもしれないので、海づくりを広めて海を守っていきましょう。

みんなもごみのポイ捨てなどの環境破壊につながることを絶対にしないでほしいし、積極的に海の清掃などの環境をよくする行動をしてほしいです。

Q 自分の住むところをどんな環境にしたいですか?

三重県は車の移動がほとんどなので、地球環境によく交通が便利になるような暮らしができるようにしたい。

例えば、空、陸、地下を利用して、渋滞せずに、また事故が起きないような自然エネルギーを使った乗り物があればいいと思う。

人間、植物、魚などのすべての生き物が心地よく暮らせる環境になったらいいなと思う。

具体的に、地球温暖化がなくなり、熱中症をゼロにして、心地よい環境にしたい。

尚崇くん 英崇くん



家庭でのエコ活動は、むずかしいことに取り組むよりも小さなことでも無理なく続けていくことが大切です。普段の生活の中でやっていることに、何のためにするのかという意味づけをすることで、取り組む重要性に気づき、課題を自分事として捉えることができしていきます。

母の重希子さん「普段、私たちは大げさなことにはしていないけれど、毎年壁新聞を作らせてもらっていて、発信・発表する機会があるというのは大事なことだと思っています。」

尚崇くんと英崇くんにとって、活動を発信する場があることは励みとなり、継続していく力につながっています。さまざまな体験から環境に関心を持ち、自分たちで課題を見つけ、解決するために行動しようという決断が、中学生になってもエコ活動や壁新聞づくりを続けていきたいと話してくれました。今後のふたりの活動が楽しみです。

最後に、「こどもエコクラブ」は、すでに家庭でエコ活動をしている人やこれから何かやってみたいと思っている人など、いろいろな人を応援してくれます。誰にでも取り組みやすい環境活動プログラムを紹介したり、全国のクラブと活動を共有したりすることもできます。次ページをご覧ください!





こどもエコクラブとは？



こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

こどもエコクラブ事業は、こどもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育むことを目的としています。

2015年、17の目標からなる国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。こどもエコクラブは地域での活動を通してこれらの課題に取り組み、持続可能な社会づくりの主演となる子どもたちを育てたいと考えています。

三重県では2019年度に66クラブ約11,000人の子どもたちが、全国では約1,900クラブ、10万人を超える子どもたちが各地域で活動しています。



SDGsとは「持続可能な開発目標」。2015年に国連総会にて世界193か国の首脳の合意により採択。2030年度を目標達成とし、17目標169ターゲットで構成されている。

こどもエコクラブに登録してみよう!

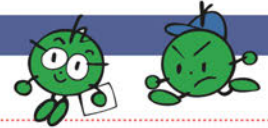


こどもエコクラブは、3歳から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

一緒に活動する仲間(メンバー)と活動を支える大人(サポーター)がいれば、いつでも無料で登録できます。

家族や友達、学校や幼稚園、企業など様々な形態のクラブが環境活動をがんばっています。活動内容は自由です。

こどもエコクラブに登録すると!こんなイコト!



その1 メンバースパッチがもらえる♪

希望するクラブメンバーの全員分がもらえます。小学生未満の希望するメンバーには「ぼくの／わたしのエコカード」がもらえます。

その2 活動に役立つプログラム&サポート♪

- こどもエコクラブウェブサイトなどを通じて誰にでも取り組める環境活動プログラム「エコロジカルとれーにんぐ」が提供されます。
- 活動を報告すると専門の先生からアドバイスをもらえたり、全国のクラブからエールをもらえたりします。

その3 全国の仲間と交流できるチャンス♪

活動をまとめた壁新聞を「こどもエコクラブ全国エコ活コンクール」に応募して、県の代表に選ばれると、全国の仲間と様々なプログラムを通じて交流できる「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に出場することができます。



司会進行など「All Japan Youth Eco-club」のメンバーが大活躍。

発表したり、ほかのクラブの発表を聞いたり質問することで交流が深まります。

たくさんの仲間たちが、環境をキーワードに繋がっています!



なひがんばる隊も参加しました!



▲お互いの健闘をたたえてエール交換!手作りの賞状を作って渡します。

全国事務局から「なひがんばる隊」へ応援メッセージ!



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局 大西さん

小学校に入学する前からこどもエコクラブで活動していたメンバーのお子さんたちがもう6年生になったんですね。毎年作っている壁新聞には実験や調査の結果が見やすくまとめられており、メンバーの成長が手に取るようにわかります。こどもエコクラブのウェブサイトに掲載されるコンクールやイベントの情報も上手に活用されていて、人数が少ない家族のクラブでも工夫次第でこれだけのことができるんだというよいお手本です。これからもなかよく、力を合わせて活動を続けてくださいね。全国事務局も応援しています!!

☆「All Japan Youth Eco-club」とは☆

こどもエコクラブのOB・OGを中心としたユースのネットワークです。全国各地で活動しているこどもエコクラブをサポートしたり、ユースメンバー同士の交流・イベントを企画・運営したりしています。随時参加メンバーを募集しています!

その4 三重県の県内交流会に参加できたり、環境のイベントや講座の案内が届いたりします♪

問い合わせ先

こどもエコクラブ三重県事務局(三重県環境学習情報センター)

ウェブサイト: <http://www.eco-mie.com> Eメール: info@eco-mie.com

こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)

ウェブサイト: <http://www.j-ecoclub.jp/> Eメール: j-ecoclub@jeas.or.jp

トピックス みえ

三重県
環境基本計画

みえ生物多様性
推進プラン

が2020年3月新しくなりました！

三重県
環境基本計画

持続可能な「スマート社会みえ」をめざして

「三重県環境基本計画」は、三重県の環境の保全に関する取組の基本的な方向を示すマスタープランです。県では、1997年に計画を策定した後、環境の保全に係る取組を進めてきました。その間、国連総会で持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、気候変動に関する「パリ協定」が発効するなど、環境を取り巻く状況が大きく変化しています。そこで、2年前倒して計画の見直しを行い、2020年3月に、新たな計画を策定しました。

健全で豊かな
三重の環境を将来の
世代へ継承するため、
オール三重
で力を合わせて
取組を進めましょう。

「スマート社会みえ」って？

新たな計画では、SDGsの考え方も取り入れ、目標年度を2030年度とし、**環境、経済、社会の統合的向上が図られた持続可能な社会の実現**をめざすこととしています。これを「スマート(SMART)社会みえ」と名付け、その実現に向け、多様な主体との協創(パートナーシップ)により、様々な分野の人と協力して展開していきます。

【目標】 環境、経済、社会の統合的向上

施策Ⅰ	脱炭素を見据える 低炭素社会の構築	7 気候変動 9 産業と資源効率 13 気候変動
施策Ⅱ	資源の有効利用、資源循環の促進が図られ、 廃棄物の排出が極力抑制された 循環型社会の構築	2 資源効率 11 持続可能な消費と生産 12 資源効率
施策Ⅲ	生物多様性の保全等が進められた 自然共生社会	13 気候変動 14 海洋資源 15 陸域生態系
施策Ⅳ	大気・水環境等が保全され、安全・安心で、 快適な生活が営めるような 生活環境保全の確保	3 健全な生活 6 清潔な水と衛生 14 海洋資源
施策Ⅴ	共通基盤施策 (環境教育、環境学習、環境活動、環境経営等)	4 質の高い教育 8 産業と雇用 13 気候変動

スマート社会みえ～食品ロス削減編～



- ☆ごみが減る
- ☆フードバンクを通じて支援を必要とされる方へのサポート
- ☆地球温暖化の抑制へ

お問合せ 三重県環境生活部 環境生活総務課
Tel:059-224-2314 e-mail:kansei@pref.mie.lg.jp
「三重県環境基本計画」について
<https://www.pref.mie.lg.jp/KANSEI/HP/m0049900042.htm>

みえ生物多様性
推進プラン

みんなで生態系のつながりを守ろう!

生物多様性の保全は、SDGsにおいて、幸せな社会を築くための土台として位置付けられるなど、国際的にもその重要性が高まっています。県では、2012年3月、「みえ生物多様性推進プラン(以下推進プラン)」を策定し、様々な主体が、それぞれの役割に応じた取組を進めてきました。そして、2020年3月に、SDGsなど生物多様性保全に対する社会的関心の高まり等を踏まえ、第3期推進プランを策定しました。

100年後の
未来においても、
**人と自然が
うまく共生して**
生きていけるように、
私たち一人ひとりが、
出来ることから
行動しましょう。

生態系ネットワーク形成

生物が豊かに住める取組を円滑に推進するため、森林、田園地域・里地里山、都市部、河川・湿地、沿岸・海洋域の地域毎における各主体の取組を整理しました。

生態系のつながりを大切にするために私たちにできることをやっていきましょう。

【取組方針】 県民や事業者、NPOなどの多様な主体と協創して取り組む

取組方針 1	重要な自然環境や野生生物の保全 希少野生生物の適切な保全を進めます。	14 生態系 15 陸域生態系 17 持続可能な消費と生産
取組方針 2	豊かな里地・里山・里海の保全と利用 NPO等の様々な主体による活動を促進します。	2 資源効率 9 産業と資源効率 14 海洋資源 15 陸域生態系 17 持続可能な消費と生産
取組方針 3	生物多様性への負荷の抑制 地球温暖化防止等の取組を推進します。	6 清潔な水と衛生 9 産業と資源効率 13 気候変動 14 海洋資源 15 陸域生態系 17 持続可能な消費と生産
取組方針 4	生物多様性保全の環境づくり 生態系ネットワークを意識した生物多様性保全の普及啓発、取組を促進します。	4 質の高い教育 11 持続可能な消費と生産 14 海洋資源 15 陸域生態系 17 持続可能な消費と生産



お問合せ 三重県農林水産部 みどり共生推進課
Tel:059-224-2578 e-mail:midori@pref.mie.lg.jp
「みえ生物多様性推進プラン」について
https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0026100005_00004.htm



環境学習指導者養成講座「環境基礎講座2020」 第1回「気候変動」をテーマに開催しました!



第1講「脱炭素社会の実現に向けて」

講師：喜多 秀樹氏(三重県環境生活部地球温暖化対策課)

三重県知事は昨年12月、「ゼロエミッション2050みえ」を公表。2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す、と宣言をしました。「どうやってゼロにするの?」「県はどんな施策をするの?」。そんな疑問が浮かぶなか、今回の講座を企画しました。



喜多氏は、世界、日本の気候変動に対する枠組みや対策、パリ協定以降のESG金融の拡大やグローバル企業の経営戦略など最新の動向について、さらに、三重県の施策について、説明されました。

第2講「人類の危機 コロナウイルスと気候変動」

講師：立花 義裕氏(三重大学大学院生物資源学研究所教授)

立花氏は、昨今の豪雨と気候変動、海面上昇による影響、新型コロナウイルス感染症拡大渦中におけるCO₂排出量の変化、気候・気象学に関する教育の充実など多岐にわたる内容についてお話をいただきました。



気候変動と新型コロナウイルス感染症。人類生存の危機が迫ってくるなかで、経済の成長を阻害することなく、持続可能な社会をどうつくっていくのか。参加者とともに学び、自分ごととして受けとめる時間となりました。

「環境基礎講座2020」

- 10月 3日(土) 「水環境」
- 10月10日(土) 「資源循環」
- 10月17日(土) 「エシカル」

参加希望の方はお問合せください!



企画展示

開館時間内 観覧無料

問題の答えは、企画展示にあります。見に来てくださいね

予告 「環境活動紹介」 10・11月 キオクシア株式会社 四日市工場

工場では、パソコンや携帯電話、カメラなどの半導体メモリ製品を作っています。そして、いろんな「環境活動」に取り組んでいます。



- 地球温暖化防止のための、温暖化物質(PFC)を除害する設備を100%設置しています。
- 「〇〇〇〇の保護活動支援」をしています。
- 小学校などでのこども環境教育をしています。
- 他にもいろいろ…。

予告 「みらいのヒントを教えてくれる“ごま”」 12・1月 九鬼産業株式会社

四日市市にある九鬼産業株式会社は、おいしさと品質にこだわるごまの総合メーカーです。ごまの生産・販売を通じたサステナブル(持続可能)な取組を紹介します。



- 国内、海外のごま生産者を訪問し、栽培状況などについて意見交換を継続して行っています。
- 三重県ごま産地化プロジェクトを実施しています。
- 「〇〇〇〇〇〇〇〇認証ごま」の商品化をしています!

日本で消費されているごまの99.9%は外国産なんだって



三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・申込方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境講座はお近くでも開催できます

学校の先生の場合 地域活動団体の場合 自治体の場合

スキルアップなどに
利用ください。

メンバーの環境教育
やスキルアップなどに
ご利用ください。

市町での環境活動を
増やすキッカケ作り
にご利用ください。

環境講座は出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください。

講座予定

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、講座内容の変更、延期、または中止となる場合があります。

環境学習指導者養成講座

みえ星空環境案内人養成講座 全3回

①2月14日(日) ②2月27日(土) ③3月6日(土)

会場	①三重県環境学習情報センター (四日市市)	1月20日(水) 応募者 多数の場合は 抽選
	②四日市市勤労者・市民交流センター (四日市市)	
③鈴鹿馬子唄会館、 鈴鹿峠自然の家 天文台「童夢」 (亀山市)		
内容	星と人との環境の架け橋になる指導者「みえ星空環境案内人」を養成します。また、この講座を通して、全国共通資格「星空案内人(星のソムリエ®)」の取得を目指すことができます。受講料とテキストが必要。対象:三重県内在住の16歳以上の方	

環境学習指導者養成講座 スキルアップ講座

ESD実践講座2020

PART1「SDGsを知る」

①10月31日(土) 講義:世界の動き・日本の動き/取組紹介:自治体・金融機関

②11月23日(月・祝) 講義:地域の動き・学校の動き/取組紹介:企業・学校

PART2「SDGsを達成する学び」

①12月12日(土) ②1月23日(土) ③2月20日(土)

会場	PART1 ①みえ県民交流センター(津市) ②三重県総合文化センター(津市)	締切	定員に 達し次第 締め切り ※先着順
	PART2 ①②③みえ県民交流センター(津市)		
内容	PART1では、SDGsに関する基礎知識と実践取組を学びます。PART2では、SDGsを達成するための「学びかた」「学びのプロセス」を体験します。		

環境学習指導者養成講座 環境基礎講座2020

※①~③は終了しました

④10月10日(土) 資源循環 ⑤10月17日(土) エシカル

会場	④三重県伊勢庁舎(伊勢市)	締切	各講座の10日前 ※先着順
	⑤じばさん三重(四日市市)		
内容	第4回、第5回は「資源循環」「エシカル」がテーマです。各講座では、各テーマの最新情報をえながら、「私に何ができるのか」を学びあう入門講座です。		

環境講座 エコぞうウォーク

11月15日(日) 10:00~12:00

会場	三重県環境学習情報センターと その周辺(四日市市)	締切	11月8日(日) ※先着順
	内容		

大人のおそべるたいむ

11月25日(水) 13:30~15:00

会場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	各講座の3日前 ※先着15人
	内容		

環境講座 身近な冬鳥を観察しよう

12月5日(土) 9:30~11:15

会場	三重県総合博物館MieMu および 周辺のため池(津市)	締切	11月14日(土) 申込先:三重県総合博物館
	内容		

こども環境講座 お正月かざり作り

12月26日(土) 10:00~11:30

会場	四日市市勤労者・市民交流センター (四日市市)	締切	12月6日(日)
	内容		

環境工房 お正月かざり作り

12月26日(土) 13:30~15:00

会場	四日市市勤労者・市民交流センター (四日市市)	締切	12月6日(日)
	内容		

「おそべるたいむ」毎月日曜日 9:00~16:30 会場 三重県環境学習情報センター

※事前申し込み不要 当日受付 先着15人

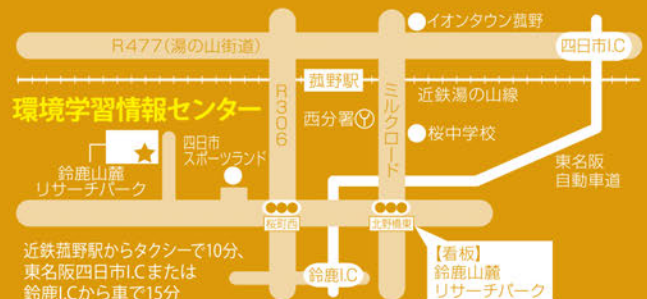
9~10月 どんぐりクリップ 11~12月 クリスマスリース

※「先着順」以外はすべて抽選となります。各講座の詳細につきましては、お問い合わせください。

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com/
休館日	年末年始(12月29日~1月3日)
開館時間	午前9時~午後5時30分
入館料	無料



Facebook @eco_zou